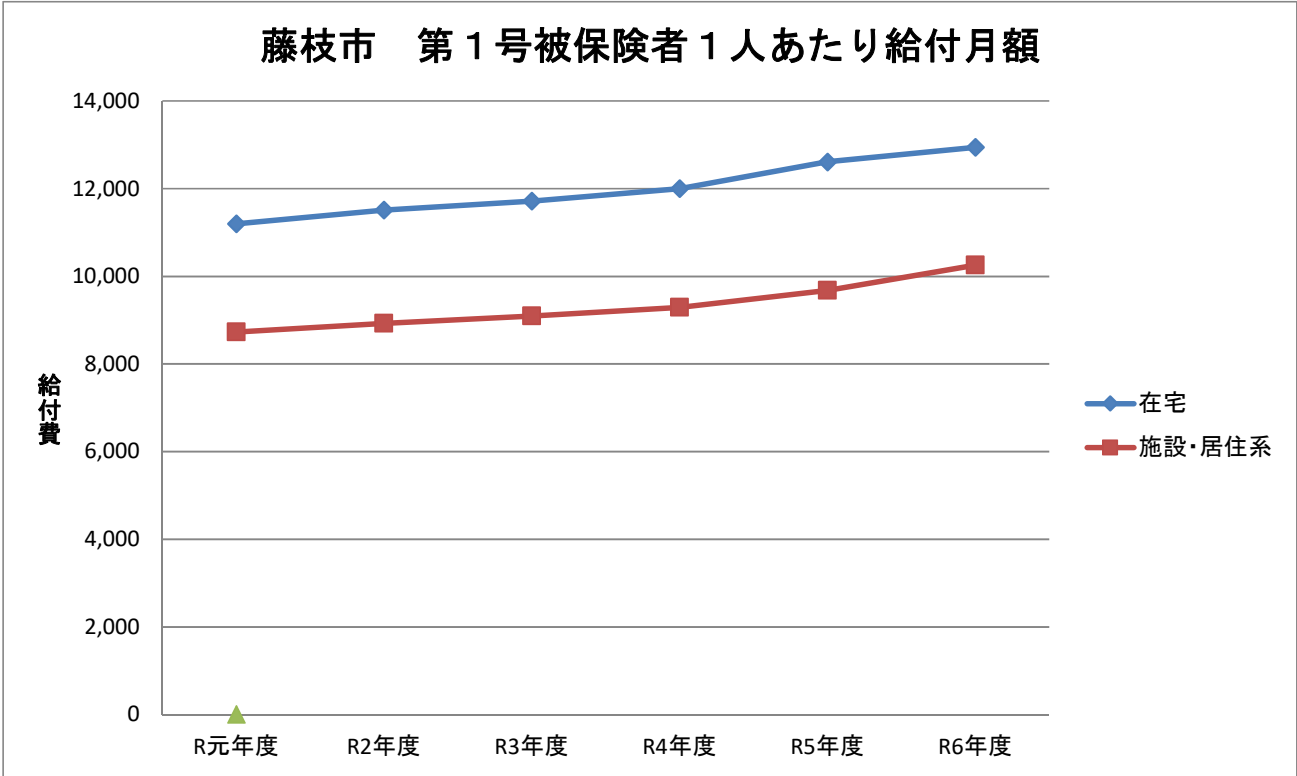


2 藤枝市における一人あたりの給付月額状況

(1) 藤枝市の各サービス1人あたり給付月額



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5・6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
令和6年度は9月サービス提供分まで

藤枝市	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
在宅	11,199	11,509	11,717	11,997	12,609	12,943
施設・居住系	8,728	8,925	9,095	9,290	9,677	10,257

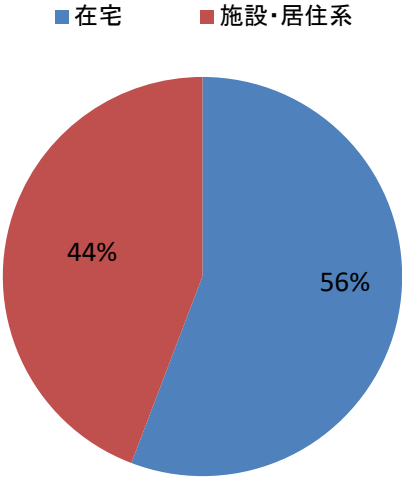
【藤枝市の特徴】

在宅および施設・居住系の各サービスの内訳に近年大きな変化はない。
令和元年度以降、在宅、施設・居住系ともに増加傾向は緩やかだったが、令和4年度以降伸びが大きくなっている。

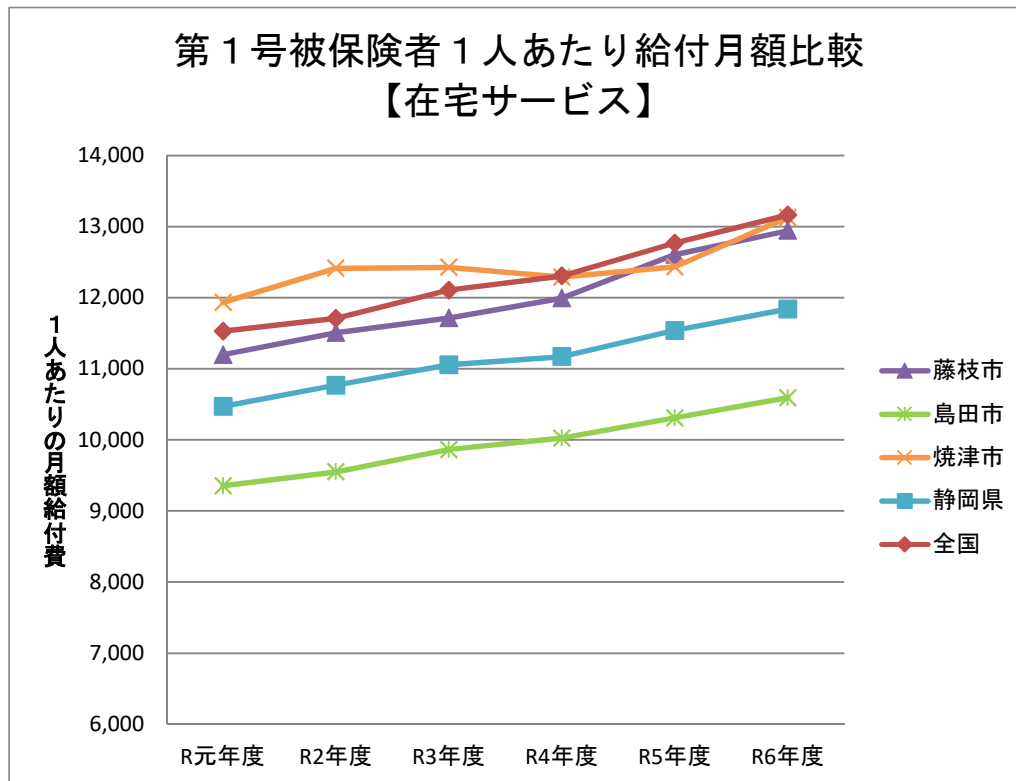
【考察】

令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の5類移行（令和5年5月）などにより、介護サービスの利用を再開または新たに開始する高齢者が増えたことが要因として考えられる。
認定率の上昇と併せて、各サービスの利用量と介護保険給付費の増加につながるため、各サービスの充実とともに給付の適正化に努める必要がある。

藤枝市 令和6年度
給付月額内訳



(2) 在宅サービス給付月額



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5・6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
令和6年度は9月サービス提供分まで

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
藤枝市	11,199	11,509	11,717	11,997	12,609	12,943
島田市	9,356	9,553	9,865	10,028	10,312	10,593
焼津市	11,936	12,416	12,430	12,292	12,438	13,131
静岡県	10,472	10,771	11,059	11,173	11,542	11,842
全国	11,531	11,712	12,107	12,308	12,770	13,166

在宅サービスとは

自宅に訪問してもらうサービスや施設に通って利用するサービスなどです。

【藤枝市の特徴】

全国平均並みではあるが、県平均を上回っている。

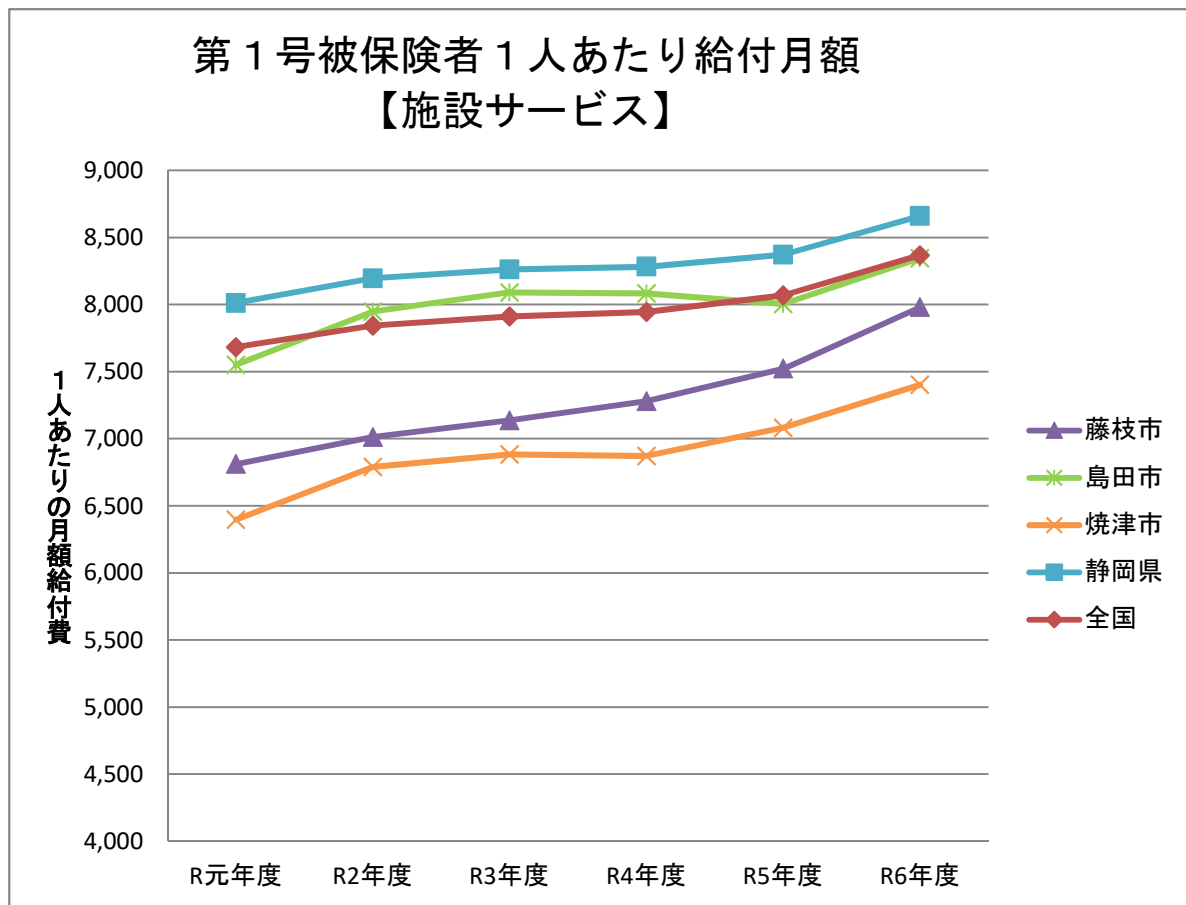
令和元年度以降の増加傾向は緩やかだったが、令和4年度以降伸びが大きくなっている。

【考察】

新型コロナウイルス感染症5類移行・収束に伴い、介護サービスの利用が再開されたことが想定されるとともに、本市の特徴として考えられる在宅での生活を維持するためのサービス利用という点においても、在宅サービスの需要が高くなっていることが想定される。

本市では、令和6年度以降においても介護と医療の両方のニーズに対応した看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を予定しており、在宅での生活の継続に必要なサービスの質と量の確保に努めているところである。

(3)施設サービス給付月額



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5・6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)
令和6年度は9月サービス提供分まで

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
藤枝市	6,812	7,012	7,137	7,281	7,522	7,980
島田市	7,552	7,948	8,092	8,083	8,005	8,347
焼津市	6,398	6,792	6,885	6,872	7,083	7,403
静岡県	8,013	8,197	8,263	8,283	8,373	8,660
全国	7,684	7,842	7,911	7,946	8,069	8,368

施設サービスとは
特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所して利用するサービスです。

【藤枝市の特徴】

1人あたり給付月額は全国及び県平均より下回っているが、焼津市をやや上回っている。
令和5年度から令和6年度の伸びが顕著となっている。

【考察】

焼津市とは特別養護老人ホームや介護老人保健施設の施設数・定員数に大きな差はないが、要介護度別利用率に目を向けると、本市では焼津市に比べ要介護5で施設サービスを利用する認定者の割合が高く、結果的に本市の認定者全体の利用率と一人当たり給付月額を押し上げていると考えられる。

令和5年度以降の顕著な上昇については、令和5年11月に医療療養病床から介護医療院への転換が行われたため、それに伴う施設サービス費の増加が影響していると考えられる。

